



永生第一小学校

校歌
 明治六年に郡立谷村学校の分校として開校以来、百十六年の歴史をもつ本校ですが、その歴史の流れの中では、先ず明治八年に独立して昇小学校と改称し、その後校名の変更や、田野倉・尾県両小学校との合併・分離、さらには、昭和四十二年に与繩小学校との合併という幾多の変遷を経て今日に至っています。



校歌
 明治六年に郡立谷村学校の分校として開校以来、百十六年の歴史をもつ本校ですが、その歴史の流れの中では、先ず明治八年に独立して昇小学校と改称し、その後校名の変更や、田野倉・尾県両小学校との合併・分離、さらには、昭和四十二年に与繩小学校との合併という幾多の変遷を経て今日に至っています。

今月のひまわり

永生第一小学校

明治六年に郡立谷村学校の分校として開校以来、百十六年の歴史をもつ本校ですが、その歴史の流れの中では、先ず明治八年に独立して昇小学校と改称し、その後校名の変更や、田野倉・尾県両小学校との合併・分離、さらには、昭和四十二年に与繩小学校との合併という幾多の変遷を経て今日に至っています。

ふるさとの祭



9月7日 小篠神社例祭(十日市場)
 10日 小野熊野神社例祭(小野)
 御嶽神社例祭(与繩)
 七社神社例祭(引ノ田)
 阿夫利神社例祭(玉川)
 生出神社例祭(法能)
 金山神社例祭(戸沢)
 12日 お会式(信行寺)
 15日 十二天社例祭(夏狩)

春日神社例祭(上大幡・高畑・中津森)
 若宮八幡神社例祭(金井)
 浅間神社例祭(平栗)
 三輪神社例祭(細野)
 五社神社例祭(朝日曾雌)
 十五夜(旧暦)(各地)
 16日 熱田神社例祭(下大幡)
 20日~26日 秋彼岸(各地)

子どもの心シリーズ 3 おとなしすぎる子



一歳から一歳半位まで親の言うことをよく聞いていた子が、二歳頃に親の言うことをきかなくなり、言葉づかいがぞんざいになり、親の言うことに口答えをしたり、歩く時手をつないでいたのに「自分で歩く。」と言って一人で歩きたがるようになります。

このようになると、親はしつけがだめになった。困ったものだと考えて、もっと厳しくしつけようとする、とますます反抗するようになり、このようになるのは、何でも自分でしようとする心が反抗という形になって表れているのです。ですから、この時期に反抗するというのは喜んでよい現象だと言えるでしょう。

これと反対に、いつまでも親の言うとおりになっていて、反抗しない子の方が心配です。親の方から見ると、素直に言う事を聞き、しつめた事をきちんとするので、から、「申し分のない子」となるのです。実はそれが心配になるのです。

そう言う子は、自立しようという芽が育っていないのです。自立する心が育っていない子は、反抗する事もないのです。反抗する時に三歳位になっても反抗する様子が全然なかったら、自分の子育てを疑って見る事です。

その原因は、厳しすぎる家庭の場合です。両親が厳しすぎると自立する芽は育ちません。いつも親の指示を待って行動し、叱られない事ばかり考えています。親の指示待ち人間になってしまうのです。そうすると自立する心は育ちません。

次に過保護の家庭です。欲しいものは何でも買ってやり、何一つ不自由のない生活もいけません。自分の思うとおりに家の中がなる、というようになると、自分から動きだす事もなくて、我がままな子になって自立する心はやはり育ちません。

第三には、乳児期に愛情の不足していた場合です。前回に申しましたとおり乳児期から幼児期の間に愛情たっぷりの生活をした子は自然に反抗しますが、不足している子は親に未練を持って自立する心は育ちません。

いずれにしてもこの時期に、反抗する現象がでてきたら、家の子はいまよく育っていると思ってよいでしょう。

教育相談室

☎ (43) 1111
 内線 214

心身障害児 巡回教育相談の お知らせ

ことばをよく話せない、知恵が遅れているようだ、病弱だ等子どもの事が心配になっている方の相談を行います。

障害を持っている子も正しい接し方を早くから行うことによってよくなります。重い障害を持った子にはどの学校へ入学することが正しいか、入学までどんな事をさせたらいいか等についての相談を行います。

主催 山梨県教育委員会
 特殊教育センター

対象 都留市教育委員会
 零歳児より中学三年生までの子どもで、心身の発達に遅れがあったり、障害のある子どもと親。

相談方法 個人面接により障害改善・克服のための指導などについて一人二時間位行います。

相談員 相談内容に応じて専門家が当たります。

日時 9月12日(火)と27日(水)
 場所 都留市文化会館(YLO)
 申込方法 都留市教育委員会
 学校教育課(教育相談)

☎ (43) 1111
 内線 212